

スフィンゴモナス属由来のアルギン酸リラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0805

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、ポリ (β-D-マンヌロン酸) リラーゼ (EC 4.2.2.3) は、次の化学反応を触媒する酵素です: β-D-マンヌロン酸残基を含む多糖類の脱水素的切断により、末端に4-デオキシ-α-L-エリスロ-ヘキサ-4-エノピラノース基を持つオリゴ糖を生成します。この酵素はリラーゼのファミリーに属し、特に多糖類に作用する炭素-酸素リラーゼです。この酵素はフルクトースとマンノースの代謝に関与しています。

別名 アルギン酸リラーゼ I; アルギン酸リラーゼ; アルギナーゼ I; アルギナーゼ II; アルギナーゼ; ポリ (β-D-1,4-マンヌロン酸) リラーゼ; EC 4.2.2.3; 40591-57-9

製品情報

由来 スフィンゴモナス属

形態 液体

EC番号 EC 4.2.2.3

CAS登録番号 9024-15-1

分子量 ~ 39.6kD

活性 ~ 125 U/mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、pH 7.2および40°CのTris-HClバッファー中で、235 nmにおいて1分あたり1.0の吸光度の増加を生じるのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°C